

## グローバル化時代における日中語彙交流 —中国語に見られる日本語由来の新語を中心に—

譙

燕\*

### はじめに

今日の世界では、科学技術の進歩に伴って、社会、経済、文化などのグローバル化が急速に進展し、国際交流も著しく発展している。こうした変化は外国の新しい事物や概念を表す言葉を借用する可能性を一層高めていると考えられる。このようなグローバル化時代において隣国である中国と日本とでは以前より文学、文化面での交流がさらに便利になったため、相互の言葉の借用も多領域で発生したのである。

本論文は主に日本語由来の新語がいつ中国の新聞に現れたのか、その意味・用法に異同があるのかを明らかにすることを目的とする。ここでいう日本語由来の新語は1970年代末期以降、中国語に現れた日本語からの借用語のことである。

検討方法としては、まず中国語の新聞コーパス『読秀知識庫』<sup>1</sup>から日本語由来の漢語と考えられるものを抽出する。そして、コーパス（日本語『現代書きことば均衡コーパス』（少納言）、中国語『読秀知識庫』）から用例を抽出し、検討を加える。

### 1. 日本語由来新語の初出年

中国語の新聞における日本語由来の新語は“御宅族”、“熟女”、“封杀”、“森女”、“声优”など日本で創造された語と、“写真”、“人気”、“料理”、“込

人”など古代中国語の語形を利用して新しい意味を与えた語の2種類が見られる。これらの語は主に1970年代末期以降中国語の新聞に現れたものである。例えば、

年功序列（1979） 低迷（1982） 封杀（1982）  
写真（1985） 整合（1987） 完胜（1990）  
败因（1991） 外食（1992） 人脉（1993）  
料理（1993） 募金（1994） 人气（1995）  
恶评（1999） 舌祸（2000） 苦手（2000）  
完败（2000） 女优（2001） 连霸（2001）  
毒舌（2003） 熟年（2003） 美肌（2004）  
御宅（2004） 熟女（2005） 达人（2005）  
援交（2005） 好调（2006） 耽美（2006）  
声优（2007） 干物女（2007） 艺能界（2007）  
特典（2007） 绝赞（2007） 怨念（2007）  
控（2008） 萌（2008） 草食男（2008）  
败犬女（2009） 森女（2010） など

資料から139語集めたが、これらはただ中国語の新聞に現れた語である。実際、ラジオ、テレビ及びインターネットで使用されているもののほうがさらに多くあるばかりでなく、臨時的に借用されて、またすぐ消えてしまったような一時的なもので新聞に現れたことのないものもあると考えられる。そのようなものの使用開始時期などを調査することが困難なため、ここではただ新聞上の初出年を調べたにとどまるが、半数以上は2000年以降出現したものであると観察される。これもグローバル化の進展による文化交流の発展に起因していると思われる。

\*北京外国語大学

## 2. 日本語由来新語の意味

日本語由来の新語の意味・用法を考えると、①日本語の意味・用法とほぼ同じもの（完勝、大賞、苦手、美肌など）、②日本語の意味・用法と相違のあるもの（御宅、熟女、封杀、暴走など）が見られる。

### 2.1 日本語の意味・用法とほぼ同じもの

まず、日本語と中国語の「完勝」/“完胜”<sup>2</sup>の例をみてみよう。

- (1) 少ないチャンスを生かす「つなぐ野球」で4-0と完勝した。(朝日新聞 2008.1.26)
- (2) モンデル氏に首都ワシントンをおさえ、辛うじてレーガン氏の“完勝”を阻んだ。(朝日新聞 1984.11.07)
- (3) 印尼隊が3比0完勝丹麦隊、率先挺進決戦。(インドネシアチームが3-0でデンマークチームに完勝し、真っ先に決勝戦に進出した。)(青年報 2005.5.15)
- (4) 《乡村爱情7》(简称《乡7》)完胜热播韩剧《来自星星的你》(简称《星星》), 排名第一。(『田舎の愛情7』(『田舎7』と略す)は韓国の人気ドラマ『星から来たあなた』(『星』と略す)に完勝し、首位となっている。)(呼和浩特日报 2014.2.6)

例(1)~例(4)のように、「完勝」/“完胜”は日中とも「完全な勝利」を表し、体育だけでなく、政治、経済、文化などの領域でも用いられる。

そのほか、日本語でも新語といえる「草食男子」、「干物女」、「森ガール」などの語も近年中国語の新聞などでよく用いられている。例えば、「草食男子」(草食系男子)という言葉は2006年に日本で造語され、『恋愛に「縁がない」わけではないのに「積極的」ではない、「肉」欲に淡々とした男子』という意味を表すが、2008年に女性ファッション雑誌において「草食男子」特集が掲載され、大きな反響を得て、2009年の年末に、新語・流行語大賞のトップテンも獲得した語である。

中国語の新聞では、“草食男”は2008年ごろからほぼ日本語と同じ意味で用いられているが、時期的にやや遅れて、“肉食女”、“肉食男”、“草食女”も用いられるようになったことから、こういった言葉は中国の社会事情にも合っているため、流行したわけである。

「完勝」/“完胜”や「草食男子」/“草食男”などは日本で作られてから中国語に借用されたものであるが、次の「人気」/“人气”は古代中国語にあった語で、日本語で新しい意味を付与されてからまた中国語に逆輸入された語である。「人気」については、『岩波国語辞典(第6版)』において「世間の評判。人人からの受け」と解釈されている。

(5) 人気アニメが数ある中で、そのパロディーマンガで雑誌が出来て、しかも15万部も売れてしまうのは「機動戦士ガンダム」だけだろう。(朝日新聞 2007.6.19)

(6) 她们在日本的人气已超过流行歌手王菲, 直逼当年的邓丽君! (彼女たちの日本での人気は流行歌歌手の王菲を超え、昔のテレサテンほどである。)(人民日報 2003.12.22)

“人気”は『現代汉语词典』(2002増補版)』では新語として収録され、「人或事物受欢迎的程度(人や物に対する世間の評判)」とされている。この意味での“人気”は日本語とほぼ同じで、1995年ごろ中国語の新聞に出現して以来、多くの使用例があり、日本語からの借用語であると考えられる。実は古代中国語にもすでに“人气”という語があったが、日本語からの借用語と異なる意味で用いられることが以下の例で明らかである。

(7) 且德厚信**仁**, 未达**人气**, 名闻不**争**, 未达人心。(战国・庄周『庄子』)

(8) 远行之人, 若少憩则足痺不能立, 人气亦**闲**, 吾以此取之。(宋・李焘『续资治通鉴长编』)

(9) 汉应奉云: “人气内逆, 则感动天地。”

(元・王恽『玉堂嘉话』)

ここの“人气”は「人の心」、「人の意志」、「人の精神状態」などの意味を表す。

以上の語例のように、日本語とほぼ同じ意味で用いられるものは、そのほか「大賞、耽美、苦手、美肌、声优、干物女、芸能界、特典、絶賛、怨念、敗犬女、森女」などがある。

## 2.2 日本語の意味・用法と相違のあるもの

中国語に借用された最初の時期、日本語と同じ意味で用いられるものがほとんどであるが、徐々に意味・用法上相違の生じたものも少なくない。まず、「御宅」の例をみよう。「御宅」については『若者ことば辞典』では次のように説明されている。

- ① 常にある一つのものごとくにこだわりを持ち、その知識量、情報量は果てしない。
- ② 某M氏事件以降、外見に気をつかわない、生白く暗いだけの人間もこう呼ばれる。①よりその知識をひけらかし、だまっではいられないので嫌われることも多いが、その知識量の絶対さと、つまらないこだわりが最近、蔑視から尊敬へと変わりつつある。

(10) 彼は漫画好きの少年で、「いわゆるオタクだったかもしれない」。(朝日新聞1991.7.16)

(11) 御宅原指“你家”，但现已借来描述那些沉溺于某些嗜好的年轻人，特别是动画和漫画。(御宅は元々「お宅」を指すが、今はある趣味、特にアニメや漫画にこだわりをもつ若者を描写する言葉として用いられる。)(香港文汇报 2004.3.23)

(12) 《电车男》掀起“御宅族”狂潮。(『電車男』が「御宅族」のブームを巻き起こした。)(南京晨报 2005.8.28)

2005年8月、台湾では日本の映画『電車男』が上映され、ブームとなり、「オタク」の中国語表記としての“阿宅”や“宅人”、“宅男”なども流行語となった。“御宅”という語は香港、台湾を経由して中国大陸に伝わった可能性が大きい。最初は例(11)と(12)のように日本のことを紹介し、日本語と同じ意味で用いられていると思われる。しかし、例(13)のように、近年では「御宅」は「外に出ず、ずっと家にいる」という願望をもっている

人」という意味が強調されており、必ずしもゲームやアニメなどに関係しない例のほうが増えている。

(13) 不少上班族下班后选择窝在家中，成为“御宅族”的一员。(サラリーマンたちは仕事が終わると家にいて、「御宅族」の一員となっている人も少なくない。)(渕淵日報 2014.3.17)

また、日本語の「御宅」は中国語に借用された後、多数の派生語や派生用法も生み出した。『2007汉语新词语』では“宅男”、“宅女”、『2008汉语新词语』では“宅人”が収録され、日本語の「御宅」から借用した語であると説明されている。派生語のほかに、“宅”の動詞用法と形容詞用法も見られる。そもそも古代中国語では、“宅”は動詞としての用法があったが、現在の意味と大分異なる。『古代汉语词典』は、“宅”について次の意味項目を挙げている。

- ① 住所。(住所。)
- ② 呆在某处，居住。(どこかにいる、住む。)
- ③ 处于某种地位。(ある地位にいる。)

(14) 当然可以宅在家，观看亚运会。(当然、ずっと家にいて、アジア運動会の試合を見ることができる。)(当代生活报 2010.11.13)

また、形容詞として用いられる場合、“很”(非常に)、“较”(割合)などの副詞とよく共起する。例えば、

(15) 那时候的小齐很“宅”，下班之后就在家呆着。(あの時の斉さんがとても「御宅」みたいで、仕事が終わるとずっと家にいる。)(北京晨报 2009.12.18)

同じような例としては、“熟年”、“登校”、“封杀”などが挙げられる。

## 3. 喚情的評価

日本語からの借用語に関しては喚情的評価の同様なものが多いが、“熟女”、“暴走族”など喚情的

評価の違うものが見られる。

「熟女」は、日本語では『明鏡国語辞典』や『日本語新辞典』など多くの辞典に収録されていないが、『明治・大正・昭和の新語・流行語辞典』では昭和五十七年の新語・流行語として挙げられ、次のように説明されている。

「熟年」をもじって、二〇代後半から四〇代前半の女性をいう。この年齢の女性タレントがヌードになって話題を呼んだ。

日本では1982年に大人の女優のヌードブームを受け、ある雑誌が『熟女ヌード』という言葉をつくったが、本来は肉体・精神ともに大人の魅力を持つ女性を褒める言葉として作られたが、その後AV界で多く用いられ、マイナスの評価の語とよく共起するため、日本の女性でもこの言葉に抵抗感を持っている人が少なくないようである。

中国語においては、“熟女”は近年新聞、雑誌やインターネットなどに頻繁に出現しており、人々に愛用されているが、日本語からの新語であるため、多くの辞書で未収録のままである。ただ、『21世纪华语新词语词典』では見出し語として収録され、その語釈に「成熟的女子」(成熟した女性)とあり、さらに次のように解釈されている。

熟女是在生理上和心理上都已成熟的女性。她们成熟、稳重、富有魅力，与之相对的是“熟男”。(熟女は生理上及び心理上ともに成熟した女性である。熟女たちは成熟してかつ温厚で、魅力をもつが、それに対応する語は「熟男」である。)

次の例もよく中国語の“熟女”の意味を説明してくれると思われる。

- (16) 熟女不是硬梆梆的女强人，也不是蓬头垢面的家庭妇女，她们要良好身材、精致面孔，体面工作，更要对生活的热爱之心，对他人的包容之心，以及一颗柔软细腻的女儿心。(熟女は強情なスーパーウーマンではなく、髪もとかず顔も洗わぬ家庭主婦でもない。彼女たちはよい体つき、ととのった顔立ち、体裁のよ

い仕事に要るばかりでなく、生活に対する愛の心、他人に対する包容の心及びやさしくて繊細な女心も要るのである。) (长沙晚报 2005.12.11)

中国語では、“熟女”はほめ言葉としての性格が非常に強く、それと共起する言葉もほとんど女性に対する最高のほめ言葉である。例えば、“多金、高貴、干练、妖媚、娇俏、绝色、浪漫、冷艳、美艳、美丽、俏丽、清新、温婉、性感、优雅、窈窕、知性、职场”などある。日本語の「熟女」と共起する言葉を見ると、「淫乱、過激、危険、禁断、艶やか、豊満、妖艶、窈窕、欲情、乱倫、AV」など喚情的評価が多岐にわたり、特にややマイナス的な評価の言葉が多いことが目立つ。

「熟女」/“熟女”は中日両言語とも「成熟した魅力をもつ女性」を指すが、日本語ではマイナス評価の語と共起することが多いので、ほめ言葉としてのイメージが比較的薄いと思われる。それと較べて、中国語では“熟女”のもつプラスの評価のイメージが強調されている。“熟女”は2005年前後日本語から中国語に伝わった言葉であるが、意味上、喚情上すでに違いが生じて、成熟した魅力をもつばかりでなく、男性に頼らず、知識や経済能力もあるという理想的な女性のイメージを帯びてきていると考えられる。

“熟女”から“熟男”、“轻熟女”、“轻熟男”など多くの派生語も生まれた。“轻熟女”は2005年に台湾資生堂で作られた言葉で、「年齢25歳から35歳ぐらい、独立的経済能力を持つ台湾の都市女性」を指す。2007年出版の『中国语言生活状况报告(2006)』において171語の新語が公表されたが、“轻熟女”もそのうちの一つである。また、“熟女”と同様に、“熟男”、“轻熟女”、“轻熟男”のどれもほめ言葉のイメージの強いものとみられる。

#### 4. 借用の原因

1970年代末期以降、中国語では日本語から多

くの語が借用されているが、その原因を考えると、次の2点が挙げられる。

#### ① 外的原因

国際交流の発展がその一因だと考えられる。日本との文化交流に伴って、日本の新しい物事や概念などが多く中国に紹介され、それらを表す言葉も同時に借用されてくる。

#### ② 内的原因

情報伝達のニーズに応ずることも重要な原因となる。日本の物事や社会事情を表すのに適当な言葉がない場合、日本語を借用するほうが一層正確に伝える。特に、中国の若者たちが日本の文学・文化（アニメや漫画など）への憧れで、意識的に日本語を用いて表現することも少なくない。その多用によって次第に日本語由来の漢語が中国語に定着するようになったと考えられる。

#### 終わりに

グローバル化時代においては外国との交流が頻繁になったため、借用語も多く中国語に伝わってきたが、意味上、用法上違いが生じたものも見られる。これらは最初インターネットやテレビなどのメディアで使われて臨時性と不安定性が伴うが、徐々に中国語に浸透し、定着してきて、日常用語となったものも少なくない。語彙の受容と変容はその使用環境や社会現象に密接に関連しているが、今後もこのような新語がまた増加するだろうと考えられる。

本論文は主に新聞によって調査した結果をまとめたが、他の資料による考察を今後の課題とした。

#### 注

- 1 『読秀知識庫』は中国で発行された数十種の新聞を収録した新聞コーパスである。今回の調査では、『読秀知識庫』にあるすべての新聞（中国大陸の新聞と香港の『香港文汇报』）を対象とする。中国語の新聞コーパスを利用するのは新聞に用いられる

語は割合定着度が高く、多くの人たちに認められ、用いられていると考えるからである。

2 日本語の語例を「」で、中国語の語例を“ ”で示す。

#### 参考文献

- 荒川清秀 (1998) 「日本漢語の中国語への流入」『日本語学』17号  
 北原保雄 (2003) 『明鏡国語辞典』、大修館書店  
 沈国威 (2008) 『近代日中語彙交流史—新漢語の生成と受容』(改訂新版)、笠間書院  
 米川明彦 (1997) 『若者ことば辞典』、東京堂出版  
 米川明彦 (2003) 『明治・大正・昭和の新語・流行語辞典』、三省堂  
 羅奇祥 (2003) 「改革開放後中国語に入った日本語からの新語」『慶應義塾大学日吉紀要 言語・文化・コミュニケーション』30  
 古代汉语词典编写组 (1998) 『古代汉语词典』、商务印书馆  
 郭伏良 (2002) 「从人民网日本版看当代汉语中的日语借词」『汉语学习』5  
 国家语言资源监测与研究中心 (2007) 『中国语言生活状况报告 (2006)』、商务印书馆  
 侯敏、周荐 (2007) 『2006汉语新词汇』、商务印书馆  
 侯敏、周荐 (2008) 『2007汉语新词汇』、商务印书馆  
 宋子然、杨小平 (2011) 『汉语新词新语年编 (2009-2010)』、四川出版集团巴蜀书社  
 王铁昆 (1991) 「10年来的汉语新词语研究」『语文建设』4期  
 周刚、吴悦 (2003) 「二十年来新流行的日源外来词」『汉语学习』5  
 中国社会科学院语言研究所词典编辑室 (2002) 『现代汉语词典』(2002增补版)、商务印书馆  
 邹嘉彦、游汝杰 (2007) 『21世纪华语新词语词典』复旦大学出版社